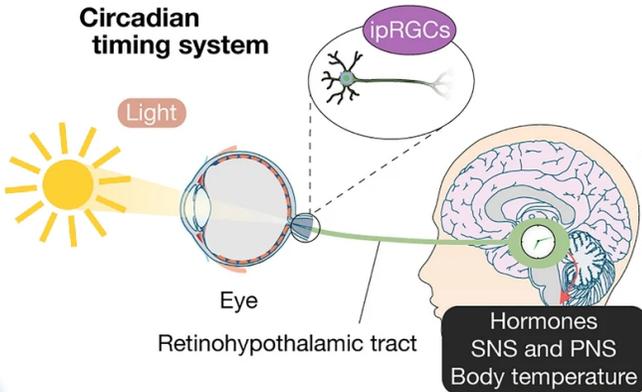
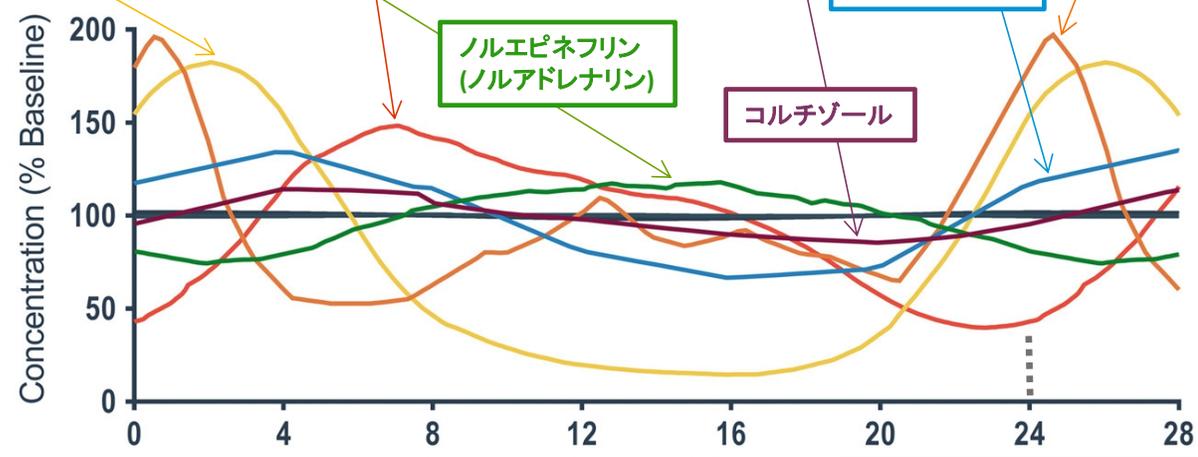
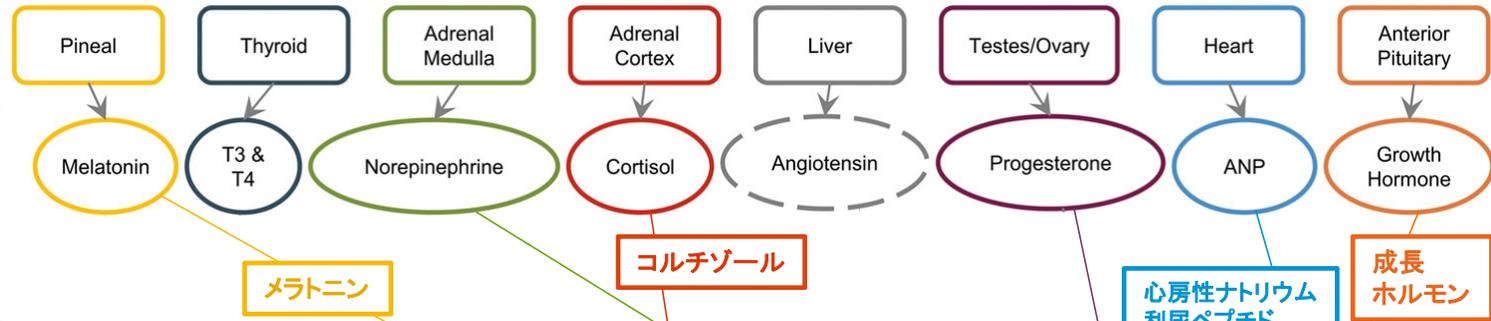


ニイニゼミ

Circadian timing system



【1日のリズムを作るために、各種のホルモンも大きく日内変動する】

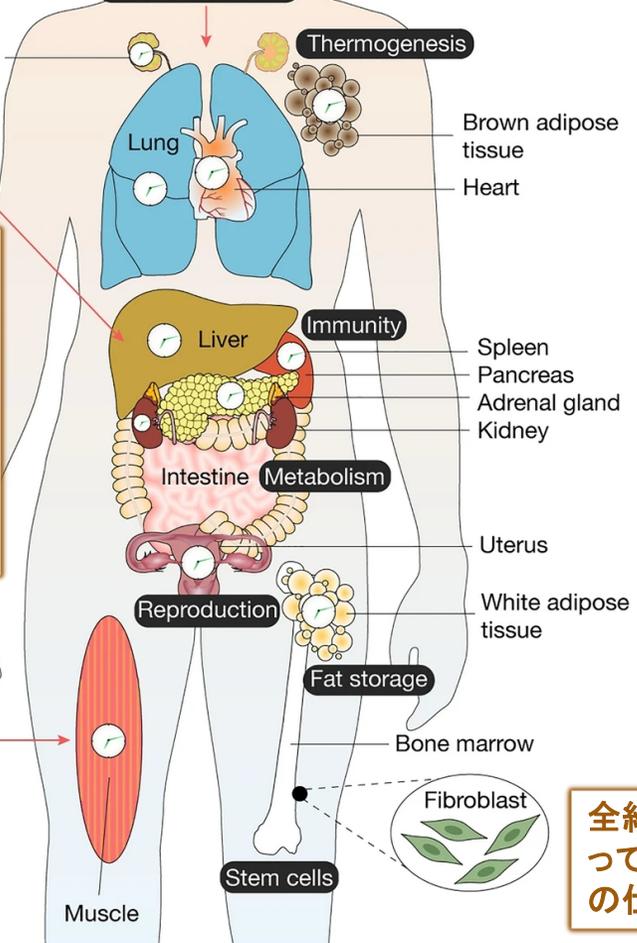


ヒトにも、本来なら精密であるはずの様々な種類の体内時計が備わっている。全時計が同調しなければ、心身に様々なトラブルが発生する。

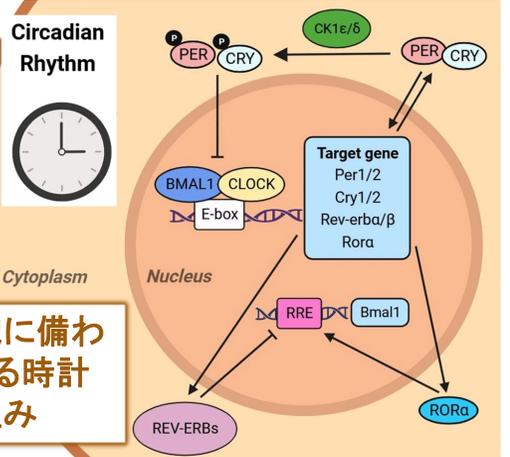
数年以上も土の中に居て、毎年決まったように、7月の18時になると羽化が始まる。



<作成:stnv基礎医学研究室>



(原図の出典:Scientific Reports volume 13, Article number: 14198 (2023))



全細胞に備わっている時計の仕組み

(原図の出典:Cell Death Discovery volume 10, Article number: 199 (2024))

(原図の出典:https://doi.org/10.1177/1535370217732766)

地球は約24時間で1回転の自転をするため、昼と夜が現れ、環境条件が大きく変化する。その変化を有効活用するため、地球上の生物は皆、24時間周期の概日リズムを刻みながら生きている。

真夜中に明るい光を見たり、飛行機などによる東西方向の高速移動は、生物にとって想定外の出来事であり、そのような事が繰り返されれば**重大な健康被害**が生じる。